

## 小美玉市におけるいじめ対策の状況について

【背景】 2011年の滋賀県大津市のいじめ事件がきっかけで、今年4月に地方教育行政法が改正され、教育委員会制度が変わり、その中でこの総合教育会議の設置を義務づけられ、小美玉市でも7月第1回会議を開催したところですが、7月に岩手県矢巾町において中学2年生の男児がいじめを苦に自殺をした事件が発生しました。

この事件では、学校側の対応の甘さが指摘されており、小美玉市での組織や対応の状況の再確認をするためにも、総合教育会議の議題として挙げる事にしました。

### 【事件の問題点】

- ・今回のケースは、明らかな「いじめ」として捉えられる行為は、学校側では把握出来ていなかった。
- ・「スクールソーシャルワーカー」や「スクールカウンセラー」などの活用をしていなかった。
- ・生徒からのSOSを担当が認識出来ず、さらには学校内での共通認識が図られていなかった。

※上記の他にも問題点はあるが、主なものは上記のとおり。別紙新聞記事参照。

小美玉市での状況を確認するとともに、問題点がないか検討